

紫波ネット

SHIWA-Net2001
「環境と福祉の町」づくり情報誌

◆特集 100年後の子どもたちへ

～全国初、環境・循環基本計画～



元気人・登場！

馬場勝行さんから

記憶に残る異聖歌

絆

を

感

ず

5月号
NO.575

私と異聖歌は二十五歳年が違います。ですから、異が存命していた時の交流というのはそう多くはなかったのですが、故郷に帰ってくると盛岡にあった私の家に必ず泊まっていたいきました。お酒が大好きで、にぎやかなことが好きな人でした。今振り返ってみれば、異は親や兄弟、甥、姪にとっても気を配ってくれた人でした。だれかが困っていると、必ず手紙をくれたりしましたし、私も東京時代はよくお世話になりました。そしてふるさとに仕事を残した人だったと思います。東京にいても土のにおいを忘れず、ふるさとに根ざした親しみのある作品を残しています。歌に親戚やその子どもたちの名が登場したり、校歌も多数つくっています。

彼が亡くなったのは昭和四十八年です。実はその前年、珍しく二度も東京から帰省しました。異の室蘭にいる姉や葛巻にいる姉を呼び寄せ、徹夜で昔話を語り合ったそうです。今考えると、お別れに来たのだとは思えてきますね…。

◆ばば・かつゆき 岩手日報事業局顧問、県立美術館を考える会会長。異聖歌の甥として四月二十四日に開かれた異聖歌祭で講演。

(四月二十四日 中央公民館で)

町の環境を百年後の子どもたちにより良い姿で残し伝えるための計画として「環境・循環基本計画」が三月に策定されました。町内全域を対象として実施された環境調査の結果や小中学生の「新しい町づくり」に私たちの夢を」と題する作文などをもとに、町民主体のえこ3ぷらんフォーラム環境計画部会で検討し、まとめられたものです。これは環境に加え、町がすすめる有機資源循環計画による「循環型社会」の実現を目指す全国初の計画になります。

今を担う大人たちへ、そして未来を担う子どもたちへという呼びかけで始まる「環境・循環基本計画」のあらましをご紹介します。

100年後の子どもたちへ

「知ろう 話そう 行動しよう」
全国初、環境・循環基本計画

環境新世紀ビジョン

知ろう、話そう、行動しよう 環境100年計画

環境学習の まちづくりプラン

- 町民主体による環境学習組織の創設
- 環境学習を通じた世代と地域の交流
- 環境情報の発信・交流機能の活性化

水辺の創造

- 紫波町版レッドデータブックの作成

良好な景観の保全と創造

- 環境関連条例等の整備

環境創造の まちづくりプラン

- 二酸化炭素削減への取り組み

有害物質対策の推進

- 行政における環境負荷削減の取り組みの推進

- 新エネルギー利用に関わる調査・研究

- 農産物・農業のブランド化の推進

- 町内の森林資源活用への推進

資源循環の まちづくりプラン

- ゼロエミッション型まちづくりの推進

- 高齢者および匠の技術と経験の蓄積と活用の推進

- 環境会計の考え方の導入

環境経営の 取り組みの推進

- 環境報告の実施

- 行政組織の変革

計画の実施を担う 組織の整備と支援

- 町民主体の実行組織への積極的な支援

環境はもちろん、伝統、文化、自然のあり方や人との結びつきを調べる「環境探検隊」を組織

学校教育から始まる生涯学習のための環境学習プログラムを整備し、世代間、地区間の交流を進める

IT技術を利用し、町の環境・循環の取り組みを全国に発信。町内にも人のネットワークづくりを行う

河川と親しめる環境整備を行い、さらに河川とその周辺の浄化のため、生活雑排水対策を進める

環境省作成の絶滅のおそれがある動植物のリストアップ（全国レッドデータブック）を参考に紫波町版を作成

町ならではの景観と自然を守るため、緑化や周辺環境に溶け込むデザインの公共施設建設などを実施

良好な環境の保全と汚染された環境の修復のため、環境配慮のためや資源循環のための規制を検討

地球温暖化の元とされる二酸化炭素を削減するため町民全員が環境に優しい暮らしをする

国の施策に準じ、ダイオキシンやPCBなどの環境汚染物質の放出を防止

公共機関ではグリーン購入や省エネルギーの推進、低公害車の導入、二酸化炭素の削減を進める

化石燃料（石油・石炭など）に替わる太陽光、太陽熱、風力、バイオマスなどの新エネルギーを研究する

有機資源循環を進める拠点の生ごみまい肥化・環境学習施設を整備し、農産物のブランド化を目指す

森林保全、林業再生のため町内の森林資源を有効活用する働きかけ

「ごみの発生抑制、再使用、再生利用を進め、できる限りごみを少なくするまちづくりを推進

高齢者が長年の経験から獲得した知恵を受け継げる体制づくりと、高齢者の活躍の場を創造

成果を明らかにしにくい環境や循環への取り組みをできる限り数値化・洗い出しを行う

実施した施策の内容とその成果、さらに環境会計の内容を「環境報告」として公表

既存の枠組みにとらわれず、横断的に事業が進められるように組織の整備を行う

官民一体となり計画を進めるため、町民参加型の組織を育て、支援していく方式をとる

◆子どもから大人まで参加 皆さんと対話を進めながら

今回策定された環境・循環基本計画は昨年六月に開催された環境月間イベント「環境新世紀」で行われた「未来宣言」を具体化するための計画としての役割を担うものです。また「環境と福祉のまちづくり」を基本理念とする町の新しい総合計画のもと、環境分野、循環型社会の形成分野では、もともとも中心となる計画として位置づけられています。

具体的には上記の「環境新世紀ビジョン」として表した内容になっており、行政組織の変革から、資源循環、自然との共存、さらにそうした取り組みへの学習体制など多岐にわたっています。

この計画は町民の皆さんと環境について対話をすすめるための資料としての役割も担っています。できるだけ多くの人に読んでもらえるよう、また子どもたちの積極的な参加を期待し、小学六年生でも読めるよう漢字にふりがなをつけるなど、分かりやすい内容になっています。

担当の生活環境課では地区公民館や小中学校に配付するほか、ダイジェスト版を作成し、各世帯に配付する予定です。

子どもたちも 環境への関心大!

昨年春に募集した
「新しい町づくり
に
私たちの夢を」から

昨年の春、町内の小中学生に「新しい町づくりに私たちの夢を」と題する作文を募集したところ、三、三十七人から応募がありました。この作文は四月に策定された「総合計画」に反映されただけでなく、ごみ問題や自

然環境の保全など身近な環境をテーマにしたものが多かったことから、今回の「環境・循環基本計画」策定に当たっても参考にされています。その中から、最優秀賞に選ばれた星山の阿部成浩さんの作品をご紹介します。

「こんな紫波町に」

星山小学校六年 阿部成浩

ぼくは、五年生の時に星山の環境のことを調べて学習発表会で発表しました。だから、ぼくは紫波町は環境を大切にすべきだと考えて四つの運動を考えました。

一つ目は、車のアイドリングストップ運動です。これは信号が赤で止まった時に、エンジンを切ることです。この運動は酸性雨をふらせないようにするための運動です。それから、もし、この運動をするのなら信号機に機械をとりつけて、信号が青になる時に、「もうすぐ青になります」と流れるようにすればいいと思います。

二つ目は買物ぶくろもらわぬ運動です。この運動は、自分の買物ぶくろを持って行ってビニールの買物ぶくろをもらわぬ運動です。これは、買物ぶくろのゴミはたくさん出ると考えて、ゴミが少しでも減るようにする運動です。それから、買物ぶくろをもらわなければゴミとして焼かれてダイオキシシンが出るのをふせげらると思うからです。三つ目は木を植えよう運動です。これ

はその名の通り木を植える運動です。この運動は木は二酸化炭素をすって、酸素をつくってくれます。

そして四つ目はぼくが一番やってほしい運動です。それはリサイクル運動です。なぜやってほしいかというと、ぼくは星山のゴミについて調べたからです。理想のリサイクル運動は、ドイツのフライブルクという都市でやっています。このフライブルクという都市は、リサイクルがすごく進んでいて、自分の家の庭でいちごやブルーベリーを育てて、ジャムにしたり、買ってきたびんをあらって、また使ったり、ダンボールに入っている物はとって、すぐにリサイクルボックスという物に入れます。さっき言った買物ぶくろをもらわぬ運動もしています。それから果物などは、日本ではバックなどに入っているけれど、ここではそのまま売っています。そして生ゴミはコンポストを使って肥料にします。だからあまり焼くゴミがありません。でも、ちよっと焼かないといけないゴミはあります。しかし、焼いた熱をエネルギーにしたりして

います。それからリサイクルじゃないけど近い所には、車でいかないで自転車です。いきます。このような事を紫波町が初めてして日本中に広まればいいなあと思います。

ぼくが考えたことは小さなことですが、こつこつみんなが努力していけば、ことわざのように「ちりもつもれば山となる」というようになればいいと思います。紫波町の人が地球のことを考えてこんな運動をしていけば、地球に与える害は大きく減るとぼくは思います。だから、ぼくは、こんな紫波町にしたいです。



阿部成浩さん
星山・紫波二一一年

小学校五年生の時に星山地区のごみについて調べたことと、ビデオでリサイクルの先進地の例を見たことがきっかけでこの作文を書きました。今は廃品回収やスーパーで買物ぶくろをもらわぬなど、できることを実践しています。自分が生まれ育った町を、いつまでも大切にしたいと思っています。

◆環境を大事にした町づくり

第一弾として十年を見すえた計画

計画では「資源循環のまちづくり」「環境創造のまちづくり」「環境学習のまちづくり」という三つ大きな取り組みを柱にすえ、「知ろう 話そう 行動しよう」を実現のための行動指針のキーワードとしています。

なおこの計画は今年度から平成二十二年度までの十年間を計画期間とし、五年ごとに前期、後期に分け、それぞれ社会情勢などをふまえ評価、検討することになっています。実施による成果や課題を反映させながら、計画→実行→評価→見直しと、すすめていくことになります。



熱心に議論が重ねられた審議会の様子

「環境・循環基本計画」の 審議に参加して

玉田清治さん

二日町・町環境保全審議会会長



町から町環境保全審議会に対して行われた「環境・循環基本計画」についての諮問を受け審議を重ねました。

委員は農業や主婦、農業委員、事業者、文化財調査委員など男女十三人で構成されています。それぞれの立場から自由に発言してもらいまともめたものです。そして三月三十日、藤原町長に答申をいたしました。「重点的に取り組むべき施策を早急に見極め行動計画を樹立すること」、「町民の積極的な参加を促すため、速やかに公表すること」など七項目を提示しました。

私は昭和四十年に県立紫波病院に勤務が決まり、この町に来てかれこれ三十六年、生まれ故郷の青森よりも紫波の方が長くなりました。県立病院勤務から保健所や衛生研究所に勤務し、町民としては介護認定審査委員、町史編さん委員なども務めてきました。

酸性雨やオゾン層の破壊といった地球規模での環境破壊がニュースとして伝えられる中、百年先を見据えた計画を町が今回策定したことは先見の明と思われれます。またこれらの計画を実現するためには大人も子どもも強制されるのではなく、自ら認識し、意志をもって行動することが大切だと考えます。

また公衆衛生では計画、実行、評価というサイクルは以前からありましたが、この計画のように目標年次を決めて、計画、実行、評価を行うことは大切なことだと思っています。この「環境・循環基本計画」が着実に進められ、これからの町づくりに活かされることを希望します。

実施状況を毎年チェックし確実な前進を

この計画は、目標に対しての実施状況を毎年度チェックし、必要に応じて実施スケジュールや内容を調整します。

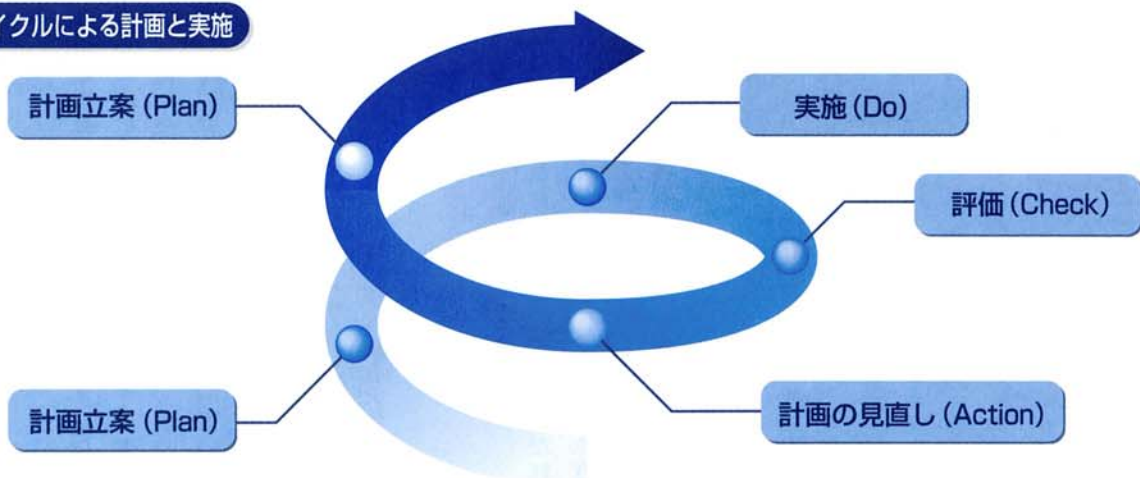
また計画全体は5年ごとに見直すことにしてい

ます。毎年度のチェックと5年ごとの見直しは計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、見直し（Action）からなるサイクル（頭文字をとった略称「PDCA」方式）に沿って行われます。

計画チェックおよび見直し



PDCAサイクルによる計画と実施



地域の特色を生かした環境保全を推進<環境配慮指針> 手を取り合って計画推進

「環境・循環基本計画」についての皆さんの声

地域の特性や産業に着目し、町を東部、中央、西部の三つのエリアに区分し、それぞれの特性を活かした指針を設けています。各エリアの皆さんに「環境・循環基本計画」についてのご意見をうかがいました。

西部

奥羽山系に水源を持ち、畜産の盛んな地域。水田を中心に幅広い農業の景観、生き物との調和を図る方策を推進します。

中央部

町の中心市街地を形成している地域。国道4号線とJRの三駅は町の主要な幹線となっています。商店街や駅前、国道沿線での景観保全のための方策を推進します。

東部

比較的なだらかな丘陵地帯が点在している。果樹園や里山を中心とした集落の景観保全のための方策を推進します。



大自然に囲まれ暮らす喜びを大切にしたい

富山志げ子さん（赤沢）

かたくりの

花に出合ひて

この峽に

住まむとわれの

心定まる

富山志げ子さん作

山梨県出身で、この地に嫁いできました。日詰駅から赤沢に向かう道には、ちょうどヤマザクラが美しく見ごろでした。そして、この地に着いた時、カタクリの花が一面に咲いていました。何だかお祝いをしてくれているようでした。良かったですね。それから毎年、季節ごとに咲く草花や生き物を眺め、暮らす毎日です。

町の名誉町民である野村胡堂翁も大作家になられても

故里の 春日の丘に かたくりの

むれ咲くころの なつかしきかな

と詠まれ、ふるさとをしのばれました。だれにとりましても、ふるさとは心温まるやすらぎの場所でありたいと思います。

私の住む家の周辺は心ひかれる自然がたくさん残っています。根雪が消えかかるころになると、道端や土手にフクジュソウが一齐に咲き出し、そしてカタクリの花が足の踏み場もないほどに群れ咲くのを、今も春ごとに見ることができます。時々、カモシカも庭先まで遊びに来ます。こうした大自然が身近な中で暮らすというのは本当にうれしく、幸せなことだと思います。

またこの地区では赤沢川を守る会が中心になり、川の清掃活動が行われ、夏にはホテルもたくさん美しい光を放ちます。

今、こうしたすばらしい環境の中に住んでいる私はこの自然を絶やすことなく、大切に守り育てていきたいと考えています。

子どものころから環境教育の充実を

吉田百子さん（上平沢・連合婦人会副会長）



婦人九団体による環境調査やエコ3

フォーラムなどに参加させていただき、環境に関しては常に関心を持ってきました。この計画は小学生にもわかり易い内容が特徴ですね。これからは子どものころから、環境を大切にする心を育み、環境を意識することが必要だと考えていましたので、まさに最適な計画だと思っています。

ただ環境、環境とかけ声だけで終わったり、いつの間にか風化してしまっただということがないようにしなければなりません。そのためには子どものころから体で覚えるようにすることが大切だと思います。すべての物が地球から授けられた物。だから地球に返していくことが大切ですね。そういう意味で資源リサイクルにも本気で取り組んでほしいと思います。

子どものころは、滝名川や柳の木など自然の中で遊びました。ただ長いこと改良区に勤めていましたので、開発の大切さも分かります。ある程度改良しないと維持していけなくなっています。

子どもたちには自分だけでなく、どれかのために生きる、人のためになる生き方をしてほしいと思います。最近人は人のつきあいがへたになっている

と感じますね。

よそから来た人は「良い所ですね」と言います。私たちも一歩離れて町を見つめるのいいと思います。自然のありがたみ、環境に恵まれていると、心から感じる事ができるはずですから。



ポイ捨て禁止条例の効果も浸透

細川正雄さん（中島・ごみポイ捨て監視員会長）



ごみポイ捨て禁止条例が施行された平成十一年四月から、監視員をしています。一年目はごみの量が相当多かったですね。二年目に入りある程度少なくなり、条例の効果が浸透してきたと感じています。これは私だけでなく、

十地区二十人からなる監視員会議でも話されていることですが、町全体がきれいになったとか、地域の関心が高く清掃に協力してくれるなどの意見が出されています。

今問題になっているのが、不法投棄です。当初町内に三十三カ所あったのですが、計画的に清掃活動を行い、現在は十五カ所になりました。今年度も三、四カ所の清掃を予定していますが、地元の人との協力をいただくことで、より関心が高まるのではないかと思います。また四月から家電リサイクル法が施行され、新たな不法投棄が懸念されます。監視の目を強化していく必要があるでしょうね。

また古館駅と周辺の清掃は平成九年から環境美化推進協議会が中心になって、週一回、全地区交替で清掃と自転車の整列などが行われています。しかしこれも初めはうまくいかず、もう一

度集まって協議した経緯があります。地域の人の協力、特にも自発的な取り組みが大切だと感じています。

巡回に出ると大人は「ご苦労さま」、子どもには「ごみ捨てないよ」と声をかけられるようになりました。商店街や駅前、国道沿線での景観保全に清掃活動はとても重要な役割を担っていると思いますので、今後も啓発活動に努めたいと思います。



まちで見つけた ホットニュース



未来のための桜の植樹 城山桜まつりは大にぎわい

町観光協会が主催する第三十回城山桜まつりは四月二十二日から五月六日まで開催され、約二千本の桜が咲き誇る城山は期間中約三万人の出入でにぎわいました。特に恒例の民謡王座決定戦や歌謡のど自慢、もちまきなどのイベントが行われた四月二十九日と三十日の両日は天候



にも恵まれ、大勢の家族連れなどが訪れました。また三十回目の開催を記念して行われた記念植樹には約六十人が参加。用意されたオオヤマザクラ三十本の苗木を、参加者は丁寧に植え、誕生や就職などそれぞれの思いを書き込んだプレート添えていました。

福祉の町づくり本格化 プールで水中運動を指導



生涯健康推進をかける町では社会福祉協議会と共催で四月から紫波町障害者健康づくり事業を開始しました。今年度は障害者の健康保持と増進を目的に、けやき学園の五人がラ・フランス温泉館のプールで、町水泳協会や体育協会の指導員の指導を受け水中運動を行います。初日の十七日は関係者らが見守る中、初めはやや緊張した面持ちでしたが、ゲームなどを取り入れ楽しんで取り組んでいたのが印象的でした。この事業は一年間、週一回のペースで行われます。

大事な命をみんなで守ろう 春の全国交通安全運動

「自転車もルールあります守ります」をスローガンに春の全国交通安全運動が四月六日から十日間行われ、町内でもさまざまな運動が展開されました。初日には水分小学校など三校で、児童への黄色い羽の配付が行われたほか、春の交通安全運動パレードや古館保育所の子どもた



ちを対象にした交通安全教室も開かれました。期間中、町内各地で交通安全の願いを込めた呼びかけが行われました。



子どもたち同様すくすく育て フルーツパークでリンゴの植栽

町は「フルーツの里」として県内でも有数の果樹の生産を誇っていますが、整備中のフルーツパーク内に、四月十七日、初めての植栽が赤沢児童館の子どもたち二十二人によって行われました。今回植えたのはリンゴの苗木で、品種はジョナゴールド。子どもたちはフルーツパークの職員や児童館の先生に助けられながら、めいめい移植べらで懸命に土をかけていました。



国際化時代に対応したまちへ 留学生を迎え賑やかに交流

国際理解や協力を推進し、国際化に対応した町づくりを目指すとして、昨年発足した国際交流協会（鷹鷲忠一会長、八十一人）は、四月二十一日中央公民館で総会を開きました。この日は岩手大学に留学中の四人のマレーシア人を迎え、交流会も行われました。民族衣装を身にまとった四人は古里の舞踊を披露したり、マレーシアの習慣などを話し、和やかな交流となりました。

紫波町国際交流協会では会員を募集しています。町内在住か



勤務している人であればなたでも加入できます。興味のある人は、ぜひお申込みください。問合せ…国際交流協会事務局
672-2111 内線311

名誉町民・異聖歌をしのび 紫波短歌会主催の講演と献歌

紫波短歌会が主催する異聖歌祭は四月二十四日、短歌の愛好家など約四十人が集まり中央公民館で行われました。異聖歌の甥、馬場勝行さんによる「甥からみた叔父・異聖歌」と題する講演会も行われ、名誉町民・聖歌のエピソードや人柄にふれ、聖歌をしのびました。また引き続き運動公園内にある歌碑の前で紫波短歌会の会員による献歌と童謡「たきび」の合唱も行われました。



厳しい社会を若さで乗り切れ！ 新入社員の合同歓迎会を開催

四月から町内の企業に就職した新入社員の合同歓迎会が四日、ラ・フランス温泉館湯楽々で開催されました。参加したのはイワテブリミートやナックスなど十社の四十一人。勤務する町をもっと知ってもらうこと

と、厳しい雇用環境の中、若さで町づくりの一翼を担ってほしいとの期待を込めて開催されたものです。藤原町長の「わが町の魅力」と題する講演も行われ、参加者はやや緊張した面もちで熱心に耳を傾けていました。





新年度になり、各地区の公民館で行われる教室の募集が始まりました。健康づくり、手作り教室、新たなスポーツへの挑戦など、バラエティ豊かな内容になっています。ぜひ、ご参加ください。

中央公民館

☎ 672・3372
有線 01・2922

教室

期日

時間

織物教室

第2土曜

午後1時30分～
(初回午前8時30分)

日詰公民館

☎ 672・3372
有線 01・8942

教室

期日

時間

ハーモニカ教室

古文書教室

子どもの気分講座

日詰つ子
集まって講座

子どもの気分講座 絵本や児童書をとおして、子どもの心を育て家庭教育を考える講座。「読み聞かせ」や「すばなし」などで読書指導を行います。日詰つ子集まって講座 子どもたちと地域の皆さんが「あそび」「まなび」「ふれあひ」講座。5月20日(日)に「歴史編③城山」を開催予定

古館公民館

☎ 676・2323
有線 01・2102

教室

期日

時間

エアロビクス教室

3B体操教室

フレッシュ
コーラス教室

新舞踊教室

吟舞教室

詩吟教室

歌謡教室

書道教室(昼コース)

書道教室(夜コース)

水分公民館

☎ 673・8222
有線 02・3524

教室

期日

時間

染め物教室

洋裁教室

健康紫水会

着付教室

水中健康教室

陶芸教室

植物を訪ねる

水泳教室

書道教室

にこにこひろば

コールあづまね

民謡教室

健康紫水会 地区の史跡散策と健康食づくり／水中健康教室 温泉プールで行う体力づくり／植物を訪ねる 史跡と植物の探索／水泳教室 中学生以上対象／にこにこひろば 保育入所前の幼児と父母を対象／コールあづまね コーラス活動

志和公民館

☎ 673・7111
有線 03・5223

教室

期日

時間

洋裁教室

川柳教室

押し花教室

和紙ちぎり絵教室

にこにこひろば 保育入所前の幼児と父母を対象

赤石公民館

☎ 676・3999
有線 04・6161

教室	期日	時間
ダンス教室	第2・4木曜	午後7時30分～
生け花教室(昼)	第1金曜	午前10時～
生け花教室(夜)	第3木曜	午後7時～
茶道教室	第2・4水曜	午後1時30分～
木彫り教室	第3土曜	午前9時～
コーラス教室	第1・2・3月曜	午後8時～
絵画同好会	第1・3金曜	午前10時～
囲碁同好会	毎月5日・15日・25日	
着付教室	毎週火曜	午後7時～

絵画同好会 鉛筆・水彩・油絵のいずれのジャンルでも受講可能／着付教室 基本は15回コース

彦部公民館

☎ 676・4670
有線 01・6698

教室	期日	時間
水中健康教室	毎週火曜	午後1時30分～
生け花教室	第4木曜	午前11時～
日本画教室	第3月曜	午前9時30分～
陶芸教室	第2月・火曜	午後1時～
カラオケサークル	第3水曜	午後7時～
表具教室	第3水曜	午前10時～

佐比内公民館

☎ 674・2626
有線 05・7337

教室	期日	時間
書道教室	第1・2・4火曜	午後7時30分～
竹細工教室	毎週木曜	午後1時30分～
草木染教室	月1回	午前9時30分～
レザークラフト教室(昼コース)	第2・4月曜	午後1時30分～
レザークラフト教室(夜コース)	毎週水曜	午後7時30分～
歌謡教室(カラオケ)	第2・4水曜	午後7時～
親子太鼓教室	6～8月(7回)	午後7時30分～
レディース太鼓教室	6～8月(7回)	午後7時30分～
シルバー太鼓教室	5～8月(10回)	午後4時～

赤沢公民館

☎ 676・3036
有線 06・7952

教室	期日	時間
書道教室	第1・3水曜	午後7時～
歌謡教室	第4水曜	午後7時30分～
ハープ教室	年3回	午後1時30分～

平成13年度 おすすめ教室 (前期)



長岡公民館

☎ 676・3789
有線 07・8226

教室	期日	時間
チビッコ民謡教室	第2・4火曜	午後7時～
チビッコおどり教室	毎週土曜	午後6時～
詩吟教室	第2土曜	午後2時～
カラオケ教室	第2・4月曜	午後7時30分～
パッチワーク教室	第1・3金曜	午後7時30分～
踊りっこ教室	第2・4木曜	午後8時～

子育て支援事業の一覧

育児の悩みの相談を 育児相談

子育てで困っていることや悩んでいることなど、お気軽にご相談ください。

電話相談：月～金曜 午前9:00～午後4:30

来所相談：月～金曜 午前9:00～11:00
午後1:00～午後4:00

親子で楽しく すくすく広場

親子で楽しく遊びましょう。保育士が中心になって、遊びを進めていきます。

【活動対象日】第1・3木曜→0・1歳児／第2・4木曜→2歳児／第5木曜→全児

【活動時間】午前9:00～11:00

赤ちゃんを通じて仲間づくり 赤ちゃん広場

今年度スタートした「すくすく広場」の赤ちゃん版。初めてお子さんを持つお母さんと誕生日前の赤ちゃんのための育児支援事業です。

【活動日】第1・3火曜 0・1歳児

【活動時間】午前9:00～11:00

みんなで楽しもう ふれあいパパ・ママランド

年数回、土曜に、季節の遊びや行事（遠足、プール、運動会、クリスマス会、雪遊びなど）にあった活動を行います。

みんなで楽しく 保育所・児童館開放

各地区の保育所・児童館で行われる親子そろっての遊びの広場です。

【活動日】第1・3水曜

【活動時間】午前9:30～11:00

出産予定のお母さんへ ハッピーママさんこんにちは

出産予定のマタニティママさんを対象にした活動です。（中央保育所でも行っています）

【活動日】第1・3水曜

【活動時間】午前9:30～11:00

一時預かり保育もスタート
お困りの際はご利用を

古館保育所では、病気や出産、家族の介護、農繁期、冠婚葬祭での外出時、週三日程度のパート時などの際に、お子さんの一時保育を行います。

■対象 町内に住む一歳以上で就学前のお子さん（同一日に希望者が多数の場合は利用できません）

■保育内容 ①緊急保育サービス（一カ月を限度とした保育 ※原則として同一理由の一カ月以上の継続保育はできません）
②非定型的保育サービス（週平均三日を限度とした保育 ※保育希望の日時は指定できませんが、緊急保育や保育所の状況により利用を制限する場合があります）

■保育時間 午前八時から午後六時までの間（日曜・祝日などの保育所の休所日を除く）

■申込方法 利用前日までに入所申込書を古館保育所に提出。お子さんの日常の様子を確認してからお預かりします。

古館保育所内に設置されている紫波町子育て支援センターでは、今年度もより充実した活動を行います。子育て奮闘中の人から、これからお母さん・お父さんになる人まで、積極的にご利用ください。

子育て支援センター
活動メニューの紹介



問合せ：紫波町子育て支援センター
☎ 671-2200
〒028-3303 高水寺字土手六一 古館保育所内

消防団・勤労青少年ホーム・行政相談員が 新体制でスタート

紫波町消防団 新団長に藤井秀男さん

昭和六十二年から町消防団長として活躍いただいた藤原恒久消防団長に代わり、藤井秀男さん（佐比内）が四月一日付けで、新たに団長となりました。藤井新団長は「これまでの経験を生かし、町の無火災のため力を尽くしたい」と抱負を語ってくれました。

藤原前消防団長は五十八年間、消防団のリーダーとして町の防災に貢献されました。大変ご苦労さまでした。

新たな幹部は次のとおりです。（敬称略）

団長・藤井秀男 副団長・大沼秀一、八重樫茂 本部長・阿部悦尚

藤井秀男団長



大沼秀一副団長



阿部悦尚本部長

八重樫茂副団長

勤労青少年ホームに若者 出会い支援センター設置



左から生内由生指導員、菅原富美子指導員、鷺盛清子館長、吉田聡志指導員（敬称略）
【労青少年ホーム】☎676-2344 有線01-3134
利用時間：午前8:30～午後10:00

地域の人も利用できるようになった勤労青少年ホームは、四月から鷺盛清子館長をはじめ職員も三人に増え、新たな体制でスタートしました。今年度も華道や茶道、書道などの長期講座や各種短期講座の開催、自治会、クラブ活動などが予定されています。

また若者出会い支援センターも設置され、所長には鷺盛勤労青少年ホーム館長があたります。これは全業種に及ぶ後継者問題への対策として、今年度新たに設置されたもので、若者に出会いの機会や交流の場の提供、相談業務を行うためのもので、四月二十五日には二十人の相談員に委嘱状が交付されました。

なお利用時間もこれまで夜は午後九時まででしたが午後十時に変更になりました。地域の人や勤労者など多くの人の利用が期待されます。

行政相談委員 新たに中野英明さん

四月一日付けで、行政相談委員として高水寺の中野英明さん（☎676-2366）が総務大臣から委嘱されました。行政相談委員は役所や公団などが行っている仕事についての苦情や意見を受けて、その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政運営の改善に役立てる仕事をします。国の役所の仕事をはじめ、県や市町村が国から委任されたり国の補助金を受けて行っている仕事について、困っていること、納得のいかないこと、要望したいことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。なお相談はいつでも無料で秘密は守られます。

またこれまで行政相談委員としてご活躍いただいた彦部の花籠陽太郎さんには四月十七日、総務大臣感謝状が贈られました。長い間ご苦労さまでした。



長年ご活躍いただいた
花籠陽太郎さん

新行政相談委員の中野英明さん



日本三大杜氏と称される南部杜氏。鑑評会出品吟醸酒140銘柄。しわ牛、黒豚、稲一のそばを堪能してみませんか。

南部杜氏発祥の地で開催 吟醸酒と地場産品を味わう 全国蔵元フェスティバル

鑑評会用の全国の吟醸酒と地元の食材を使った料理

紫波町杜氏連合会には、全国で活躍する三百五十人の酒造工がいます。その長である南部杜氏がこの冬仕込んだ吟醸酒を味わっていただく「全国蔵元フェスティバル」を開催します。

各地の蔵で仕込まれ、その地方で愛されている酒と、地場産品の組み合わせをご堪能ください。

【日時】六月九日（土）、第一部：午後三時～五時／第二部：午後六時～八時
【会場】ラ・フランス温泉館 湯楽々交流プラザ紫波

【前売り券】三千円（当日限り有効の入浴券付き）

【販売所】企画課、ラ・フランス温泉館 湯楽々で販売 ※第一部・第二部それぞれ先着八十人限定です

【送迎バス】役場前からラ・フランス温泉館までの無料送迎バスを運行します

【問合せ】企画課商工労政係 ☎672-2111 内線326 有線01-8891

企画課からのお知らせ

いつも「紫波ネット」をお読みいただき、ありがとうございます。

町では、皆さんにお配りしていたつづり用表紙の廃止にともない「紫波ネット」と同じ穴もなくなりました。特におしらせ版ではこれまで情報が数ページに及んでいたものを、カレンダー部分だけで一カ月の予定が確認できるようにしました。毎月、表紙にのりしてご利用いただいていた皆さんには、大変ご不便をおかけしますが、五月からは総合版だけ、同じ穴をあけ、お届けすることとしました。ご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】企画課企画係 ☎672-2111
内線324 有線01-8891

総合体育館からのお知らせ

総合体育館は今年度から体育施設の管理と運営を全面的に体育協会に委託することになりました。これはこれまで各種体育事業を体育協会と町がそれぞれ行っていたものを、一本化することで、町がすすめるスポーツを取り入れた健康づくり事業をより効率的にすすめるよつという

ものです。

またこれまで毎週火曜日が休館日となっていました。五月から年末年始などを除き、休館日を廃止し、より利用しやすいになりました。皆さんぜひご利用ください。

【問合せ】総合体育館 ☎676-2650 有線01-3151

元気はつらつ紫波 水中 ウォーキング 参加者募集



長寿健康課と各地区公民館の共催で、楽しみながら健康づくりができる水中ウォーキング教室を開きます。講師は町社会体育実技指導員の佐藤淳子さんです。

【開催日】六月五日（火）から毎週火曜の三十八回コース
【時間】午後一時三十分～三時
【場所】ラ・フランス温泉館 プール

【内容】水中運動／調理実習二回／健康度チェック（血液検査二回、体脂肪と血圧測定六回）
【受講料】プール利用券の回数券を購入する
【定員】先着三十人 ※五月三十一日（木）締切

【問合せ・申込】彦部公民館 ☎676-4670 有線01-6698、長寿健康課 ☎672-4522 有線01-8991

第十八回を迎える東根山登山

町と水分公民館（株）紫波まちづくり企画では、新緑の東根山の植物と野鳥観察、さらに山開き行事を行う東根山登山の参加者を募集します。町のシン



ボルに登り、自然の豊さを実感してみませんか。

【開催日】六月九日（土）、午前九時～午後三時 ※小雨決行

【申込締切】六月三日（日）

【参加料】中学生以上五百円、小学生三百円（保険料・入湯料込み）

【持参するもの】昼食、雨具、帽子、軍手、着替え、水筒、登山に適した服装

【問合せ・申込】水分公民館 ☎673-8222 有線02-3524、中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922、ラ・フランス温泉館 ☎673-8555 有線02-3908

町発行の「バリアフリー施設等のご案内～紫波町ガイドマップ～」の電話番号変更のお知らせ
4ページの③紫波警察署はTEL 671-0110です

天台宗東大本山 関山中尊寺貫首 ちだこうしん 千田孝信さん講演会

紫波町観光協会では、平成十三年度通常総会後の特別講演として中尊寺貫首の千田孝信さんをお迎えして「平泉と紫波の歴史のかかわり」と題した講演会を開催します。長年、青少年の健全育成と、地域の文化振興に取り組まれてきた千田さんの貴重なお話が聞けるチャンスですので、皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

【日時】五月二十五日（金）、午後三時から
【場所】ラ・フランス温泉館湯楽々交流プラザ紫波
【問合せ】企画課観光係 ☎672-2111
内線325 有線018891

千田孝信さんのプロフィール 1926年栃木県日光市生まれ。京都大学哲学科卒業後、天台宗の修行階梯を経て、日光市観音寺住職、県立日光高校教諭、日光保護区保護司会長、日光市文化協会長、栃木県保護司連盟副会長、日光市文化財保護委員会副会長などを歴任。1989年更生保護功勞により藍綬褒章受章。1993年から平泉中尊寺貫首に就任。

紫波町ゴルフ協会設立 会員を募集中！

紫波町ゴルフ協会設立実行委員会では、「紫波町民チャリティーゴルフ大会」の二十回開催を記念して、「紫波町ゴルフ協会」を設立します。この協会は積極的な地区大会などの開催や、地区民の健康づくりと交流にゴルフを役立ててもらうことを目的としたもので、現在会員を募集中です。入会を希望する人は、次のところにお申し込みください。

【申込・問合せ】紫波町商工会 ☎672-2244
【締切】五月三十一日（木）
※設立総会は六月上旬に開催予定です。

「アヴニール紫波」 分譲住宅の募集

岩手県住宅供給公社では、平成十三年度の「アヴニール紫波」一般分譲住宅の希望者を募集します。

【募集区画数】四十九区画
【申込受付期間と時間】五月二十八日（月）～六月四日（月）、午前十時～午後四時
※購入者の選定は六月八日（金）午後一時三十分から「A」いわて中央パールパレスで。空き区画が生じた場合は六月十八日（月）から先着順で受付
【受付場所】アヴニール紫波団地事務所
【問合せ】県住宅供給公社販売推進課 ☎652-2220



山王海ダム完成間近

農林水産省が建設を進めている土館地内の山王海ダムは、旧山王海ダムでは対応しきれなかった地域の農業用水不足解消を目的に、平成4年度から工事が行われています。矢巾町、石鳥谷町と三町に広がる水田約3,900haのかんがい用水源として、平成14年春からの供用開始を予定しています。すでに完成している葛丸ダムと水路トンネルでつながり、二つのダムで最大限に貯水できるようになっています。総貯水

量は3,840万m³で旧ダムの4倍もの水を貯えることができ、農業用水専用ダムとしては日本一の大きさを誇ります。

昨年9月にダム本体の工事は完了。その後の試験も順調で、4月25日にはダム管理事務所前で関係者によって式典が行われました。今後もダム本体や周辺地盤の安全性などの確認を9月ごろまで行い、検査終了後、供用が開始される予定です。

水源不足を解消するだけでなく、四季を通じてダム周辺の豊かな自然を満喫できる町の新たな観光名所になることと期待されています。

土木課からのお知らせ

志和稲荷神社から山王海トンネルを経て平成の森付近までの道路（町道山王海2号線・小岩ノ目小清水線）は舗装工事のため、時間帯通行止めとなります。山王海ダムまでのご利用は、しばらくの間できません。ご協力をお願いします。

期間：5月21日～7月31日（日曜をのぞく）

時間：午前8:30～午後5:00

問合せ：土木課維持係 ☎672-2111 内線514・515
有線01-8911

児童手当制度のご案内

児童手当の所得制限限度額が大幅に引き上げられ、支給対象が拡大されます。対象者にはすでに通知済みですが、今まで受給していない人も受給できる場合があります。対象者は5月末日までに生活環境課に「認定請求書」を提出

してください。

提出が遅れると遅れた分、月の手当が受けられません。

詳しいことはお問い合わせください。

【問合せ】生活環境課福祉係 ☎672-2111 内線158
有線01-8921

シリーズ【働く人に会う】

表と床の関係

店に入って最初に驚いたのが畳の種類の多さだった。畳と言えばワラ製の畳床を「イグサ」の畳表でくるんでいるものと思っていたが、畳表だけでも和紙を原料にしたもの、簡単に洗える材料で作られたもの、デニム地を畳表にしたものなどがずらりと並んでいた。「ウチは畳表を張るだけじゃなくて、畳床も作っていますが、畳も変化してきましたね」とサンプルを手に取りながら阿部製畳店（大巻）三代目の阿部廣さんは話してくれた。「昔はワラだけで床を作っていましたが、スピード化

や省コストのため、間にウレタンとか入れたものもあります。でもおすすめるのはやはり、ワラ一〇〇パーセントのもの。健康にもいいですよ。祖父、そして父の代からおつきあいがあるお客様も多いという。「リピートが多いんです。返したり、張り替えたり注文が多いですから。二十年に一度というお客様も多いですね。最近パソコンで顧客管理をしようとしているんですが、なかなか」。ちなみにパソコンは四代目の息子さんが担当。まだまだお得意さまとの歴史は続く。



作り終えてから関係が始まる
「畳職人」という仕事にふれる

町長メッセージ

新世紀の重要施策の推進について

【パート2】

先月に引き続き、新世紀の重要施策についてお知らせします。

今月は「IT推進」についてであります。政府は平成十七年までに電子政府を立ち上げようとしています。許認可などの行政手続きをインターネットを利用したシステム上で実現しようとするもので、事務の簡素化と手続きの大幅な時間短縮が可能になります。町においても住民サービスの向上と事務の効率化のため、庁舎内の事務窓口の一元化などをすすめてまいります。また教育面では町内十四の小中学校を光ファイバーで結び、新しい形の学習の研究開発を行う次世代型教育の実験校として指定を受けました。これは文部科学省の委託により通信放送機構が全国六十地域を対象に三三〇億円の予算で実施する事業で、今年十二月から本格的に実施され平成十六年三月までの間、動画や大画面を利用したわかりやすい授業の研究を行うものです。この事業の指定を受けたのは県内では紫波町だけ、市町村単位で全校指定を受けたのは全国で紫波町と長野県飯田市だけとなっています。

次は「若者出会い支援センターの設置」であります。後継者不足は農業だけにとどまらず、全業種にわたっています。今年度から関係課一丸となつて取り組んでまいります。若者の出会いの機会や交流の場を提供したり、相談業務も行います。勤労青少年ホームに相談室を設置しますので、ぜひ、お気軽にご利用いただきたいと思います。

以上、二回に分けて今年度の重要施策を掲載させていただきます。大型連休も終わりました。今年度の事業も本格的に推進してまいります。

（藤原 孝）

編集後記 屋外の取材が心地良い季節になりました。天候に恵まれた今年の城山桜まつりも大盛況。2日間お山で過ごした私は、自然の中で適度な運動。桜は終わってしまいましたが、今ごろは山吹やツツジが色鮮やかだと思いますよ。（佐藤）

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット5月号】〈平成13年5月10日発行〉

発行◆紫波町

〒028-3390

岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2111

印刷／川嶋印刷株式会社